



# 高谷史郎 | 明るい部屋

TAKATANI SHIRO | Camera Lucida

東京都写真美術館

2013年12月10日[火]-2014年1月26日[日]

観覧料：一般500円[400]円/学生400円[320]円/中学生・65歳以上250円[200]円  
 ・[ ]内は20名以上の団体料金/東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料/第3水曜日は65歳以上無料  
 開館時間：10:00-18:00(木・金は20:00まで)ただし、2014年1月2日、3日は11:00-18:00 入館は開館の30分前まで  
 休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌火曜日が休館)、年末年始(12月29日-2014年1月1日)  
 主催：東京都写真美術館/産経新聞社 協賛：凸版印刷株式会社  
 協力：NECディスプレイソリューションズ株式会社/山口情報芸術センター[YCAM]/comos-tv  
 後援：サンケイスポーツ/タリフジ/フジサンケイビジネスアイ/iza!/SANKEI EXPRESS

# 高谷史郎 | 明るい部屋

TAKATANI SHIRO | Camera Lucida

芸術監督として国際的な芸術家集団「ダムタイプ」の制作に携わる一方、映像作家としても活躍する高谷史郎の幅広い活動を紹介します。美術館における初個展を開催します。

高谷史郎は、ダムタイプの芸術監督として、パフォーマンスやインスタレーションの制作に携わり、映像、照明、グラフィックや舞台装置デザイン等を幅広く手がけてきました。個人の活動では、映像作家として、自然環境や物理現象への深い洞察に基づく作品や、音楽家ほか多彩なジャンルのアーティストとの協働で作品を制作し、とりわけ近年では、光学的な関心から写真シリーズを発表しています。

本展覧会のタイトルである「明るい部屋」とは、哲学者ロラン・バルトによって1980年に書かれた写真論の題名であり、画家が風景を手元の紙の上に映し出すために用いた光学装置カメラ・ルシダ(camera lucida, ラテン語)を意味しています。カメラ・ルシダは、今日のカメラの原型とも呼ばれる「暗い部屋(暗箱)」=カメラ・オブスクラ(camera obscura)が、針穴(ピンホール)から入ってくる外光によって倒立像を投影するのは異なり、「カメラ(部屋、箱)と呼べる部分を持たず、プリズムや鏡とレンズだけで目の前にある対象物を映し出します。「写真ができる(像が結ばれて定着する)過程は暗箱というブラックボックスの中で起こっているけれども、すべてを明るく見せるものにさらずような、そんな構造の舞台をつくってみたい」として、高谷はパフォーマンス「明るい部屋」を2008年に発表します。舞台そのものをカメラ・ルシダにすることで、高谷はバルトが考えた写真というものに近づこうとしました。

バルトは、写真の本質を、「それは=かつて=あった」という実在との間わりに見出しています。絵画は対象を模倣することができて対象そのものを映し出すことはできません。しかし、写真は対象そのものをうつしだし、それ自体が関わる記憶や存在感といったものを、観る者に想起させます。高谷にとって、写真は、あらゆるメディア表現の原点として存在しているのです。

本展では、インスタレーションとして制作された《Camera Lucida》(2004)、「Toposcan」「Topograph」シリーズ(2012)より初公開の新作などを紹介するほか、当館のコレクション作品で、高谷の活動の原点である写真映像の歴史を検証します。

出品予定作品：  
 インスタレーション作品《Camera Lucida》(2004)、《Chrono》(2006)、「Toposcan」「Topograph」シリーズ(2012)より新作他

【特別アーティスト・トーク】  
 2014年1月3日[金] 16:00-17:30  
 会場：1階ホール(定員190名)  
 出演：坂本龍一(音楽家)×浅田彰(批評家)×高谷史郎(出品作家)  
 ・本展覧会チケットの半券をお持ちの方は、どなたでもご参加いただけます。  
 ・当日10時より1階受付で整理券を配布します。番号順入場、自由席。  
 ・開場15:30(予定)。

【担当学芸員によるフロアレクチャー】  
 会期中第2・4金曜日16時より担当学芸員による展示解説を行います。  
 本展覧会チケットの半券(当日有効)をお持ちの上、展示室入口にお集まりください。  
 ・やむを得ぬ事情により、開演時間を予告なく変更することがございます。  
 ・その他の関連企画・最新情報につきましては公式ホームページをご確認ください。



《Camera Lucida》2004・表紙は同作品シリーズより



《Chrono》2006 撮影：轟山直



《明るい部屋》2012 パフォーマンス[参考図説] 撮影：堀水一夫

【略歴】  
 1963年奈良県生まれ。京都市立芸術大学環境デザイン科卒業。1984年より「ダムタイプ」に参加。ダムタイプの活動と並行して1998年より個人での制作を開始。近年の活動としては、2012年パフォーマンス《CHROMA》初演(びわ湖ホール)、「吉左衛門X」高谷史郎・音/映像+樂吉左衛門・茶碗展(佐川美術館)、2013年《composition》(シャルジャ・ビエンナーレ、アラブ首長国連邦)、《CHROMA》(マルセイユ・フェスティバル、フランス)、《LIFE-WELL》坂本龍一、野村萬葉とのコラボレーション(山口情報芸術センター)等。



東京都写真美術館 地下1階展示室  
 【恵比寿ガーデンプレイス内】www.syabi.com  
 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 TEL. 03-3280-0099  
 JR恵比寿駅南口改札より徒歩約7分/東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。  
 当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。